

論文審査の要旨

博士の専攻分野の名称	博 士 （ 心理学 ）	氏名	平 川 真
学位授与の要件	学位規則第4条第①・2項該当		
論文題目			
<p>間接的要求の社会的機能と使用者の心理的特徴 ー日本人が遠まわしに頼む理由ー</p>			
論文審査担当者			
主 査 教 授 森 永 康 子			
審査委員 教 授 宮 谷 真 人			
審査委員 教 授 中 條 和 光			
〔論文審査の要旨〕			
<p>日本をはじめ集団主義と呼ばれる文化では、「引っ越し大変なんだ」ということで引っ越しの手伝いをしてもらおうという間接的な要求表現を用いることが多いとされる。間接的要求は情報伝達の面では効率が悪いものであり、なぜこのような要求表現が使用されるのかは言語学や文化心理学の領域でこれまで議論されてきた。本論文は、間接的要求について社会心理学の面から新たなアプローチを試み、なぜ日本人が遠回しに頼むのかを検討したものである。</p> <p>本論文は3章から構成されている。第1章では、間接的要求をふくめ間接的コミュニケーションがなぜ使われるのかの説明として、言語学の領域で論じられているポライトネス理論と文化心理学の立場からの説明原理を紹介している。これらの理論では、聞き手の感情に配慮する必要があるために間接的要求が使用されると説明され、これが一般的な見解になっている。しかし、これらの理論では説明できない結果を示す研究もあり、間接的要求の使用が他者への配慮以外の理由によるという可能性が考えられる。こうした問題を指摘し、さらに、間接的要求の使用に特有の心理的特徴や社会的機能の存在の可能性に言及した上で、これを実験や調査で実証的に検討したのが第2章である。</p> <p>第2章でまとめられている研究は、間接的要求の使用者の心理的特徴を検討した研究1と2、間接的要求の機能を検討した研究3と4に分けることができる。研究1ではシナリオ法を用い、要求表現の間接度や丁寧度、さらに他者への配慮必要性を問うことで、他者配慮の必要性は要求表現の丁寧度に関連するが、間接度には影響しないことを示した。つまり、間接的要求が他者配慮によって使用されるのではないことを示し、通説を否定する結果を得ている。それに続く研究2では、間接的要求の使用には5つの目標があること（他者配慮、応諾獲得、明確拒否の回避、印象管理、申し訳なさの伝達）を見</p>			

いただいた上で、間接的要求の使用がどの目標の達成をめざしたものなのかを実験と調査により検討した。その結果、間接的要求の使用目標は他者配慮ではなく、印象管理や応諾獲得などの利己的なものであることを明らかにした。

このような目標が間接的に要求することで実際に達成されるのかを、丁寧な要求や直接的な要求と比較して検討したのが研究3である。シナリオ法による検討の結果、上述の目標を達成するには、間接的要求よりも丁寧な要求表現の方がふさわしいことが示された。つまり、間接的要求は使用者の持っている目標を達成しないことが明らかになったのである。これを受けて研究4では、間接的要求が要求の意図を曖昧にすることに注目し、聞き手が要求を承諾することが自発的援助として解釈され、また要求に従わなかったとしても拒否と解釈されないのではないかと、そして、それが話し手の自尊心や聞き手の印象などに影響し、さらにはこれを見ていた第三者にも影響を及ぼすのではないかとという仮説をたて、シナリオ法により実証的に検討した。その結果、間接的要求が承諾された場合には、それが自発的援助と解釈されることにより、話し手にも聞き手にもポジティブな効果が生じることが見いだされた。これは、間接的要求を使用することで円滑な人間関係が形成される可能性を示唆したものである。

第3章では、こうした研究結果の成果から、なぜ間接的要求が日本で多用されるのかについて、集団主義文化で重要とされる円滑な対人関係の形成と維持という面から考察を加え、さらに今後の研究の方向性や課題について言及している。

本論文は、日本で間接的要求が多用されるのはなぜかという問いについて検討したものであり、上述のような画期的な研究結果に加えて、以下のような点で高く評価できる。

(1) 間接的要求について、従来とは異なる社会心理学的アプローチをとり、これまでの通説を新たな視点から再検討することから始め、日本の対人関係において果たす役割を説明しようとする一連の展開がきわめて独創的で斬新であること。

(2) 今後、間接的コミュニケーションについて、社会心理学のみならず、言語学や文化心理学の分野で新たなアプローチをとる研究につながることを期待されること。

以上、審査の結果、本論文の著者は博士（心理学）の学位を授与される十分な資格があるものと認められる。

平成 26年 2月 20日